

■ 競泳競技規則

			変更前 2026.04版	変更後 2026.06版
第5条	自由形	追加		4項 選手の頭部の一部が5m地点を通過した後、ゴールタッチ直前には、体が完全に水没してもよい。
第8条	バタフライ	追加、項数変更  ※04版の1項～4項の構成に変更があったため、06版では項数が変わる。1項～5項の内容に変更はない	5項 泳者はスタート後、折り返し後は、水面に浮きあがるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返し後は、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。また、次の折り返し、ゴールで、体は水面上に出ているなければならない。	6項 競技中、泳者の体の少なくとも一部は水面上に出ているなければならない。泳者はスタート後、折り返し後は、水面に浮きあがるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返し後は、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。ゴールタッチで壁に手を伸ばす際、頭が5mラインを通過した後は、体が完全に水没してもよい。